



将来の進路学習に役立てようと  
中学2年生全員が職場を体験学習

11月30日、仕事をしている人から勤労の喜びや厳しさなどを聞き、将来の進路学習に役立てようと、横越中学校の2年生全員が色々な職場で体験学習しました。  
新潟南警察署には13名が参加。生徒たちは署員から警察の仕事や110番通報のしくみなどについて説明を聞いた後、鑑識活動に挑戦。畳の上に薄い足跡を付け、その上に帯電シートを被せ、機械で静電気を発生させてシートに足跡を定着する作業（左写真）をしたほか、薬品を使って血液と赤いインクを識別する作業も体験しました。  
このほかにも、生徒たちは農園や商店、保育園、消防署などで仕事を体験しました。

子どもたちが地域の人たちと一緒に  
クリスマスパーティーを楽しむ

12月10日、農村環境改善センターを会場に、沢海土曜クラブ主催、沢海青少年育成会の協賛で毎年恒例のクリスマスパーティーが開催され、乳児・幼児・小学生あわせて約80名、保護者など約50名が参加しました。  
子どもたちは、クリスマスツリーに飾るリース作りに挑戦。紙ひもを幾重にも輪にして、色とりどりのリボンや松ぼっくり、綿、人形などをボンドでつけ、世界で一つのオリジナルリースを親子で力を合わせて作りました。  
また、ゲームやもちつきをしたり、サンタクロースからプレゼントをもらうなど、地域の人たちみんなまで交流を深め、クリスマスパーティーを楽しみました。



「年の瀬は ゆとりと笑顔で 安全運転」  
年末の交通事故防止運動実施

忘年会等による飲酒運転や積雪・凍結などによる交通事故が多くなるこの時期、交通事故に一層注意してもらおうと、12月11日から31日まで「年末の交通事故防止運動」が県下一斉に行われました。  
12月18日には川根町の国道で街頭指導所を設け、坂内収入役をはじめ、新潟南警察署、交通安全協会、交通安全母の会、ライオンズクラブなど約40名が参加し、ドライバー一人一人にチラシなどを配付して安全運転を呼びかけたほか、20日には駐在所の署員、交通安全指導員などが町内事業所と飲食店を訪問し、事故防止に努め、飲酒運転をしないように呼びかけました。



横越町教育シンポジウムで  
家庭・地域・学校・行政の連携を意見交換

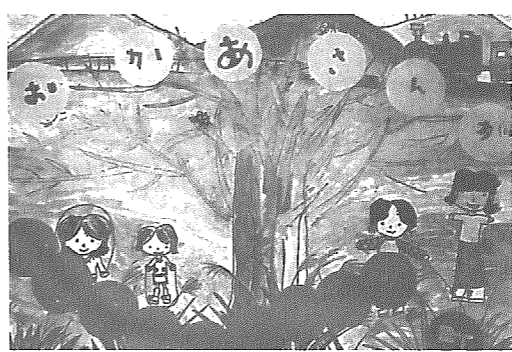
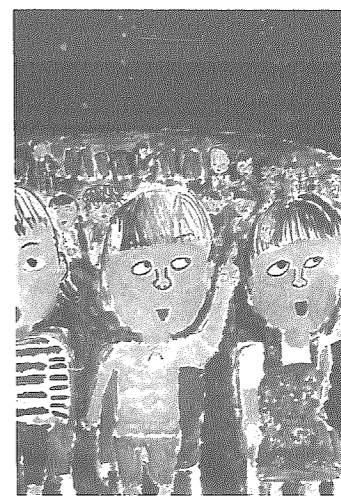
12月2日、青少年を健全に育てるために、「家庭・地域・学校・行政はどう連携すればよいか」をテーマに、横越町教育シンポジウムがサンウイング横越で開催されました。  
PTA、青少年育成会、地域公民館などから70人が参加し、分科会で「子育てに自身を失っている」「子供の夜間外出に無関心」「子供の変化に関心を持ち、早い対処を」など、活発な意見交換がありました。ある参加者は「家庭を見直すことから始め、連携には課題を共有することが大切」と、感想を語ってくれました。

第31回新潟県ジュニア美術展覧会

横越小学校から2名入選

第31回新潟県ジュニア美術展覧会（新潟日報社・県教育委員会など主催）が開催され、横越小学校から2名が奨励賞を受賞しました。作品は、12月2日から13日まで新潟県民会館で展示されました。  
展示された入選作品を紹介します。

絵画 関口 早穂（小学3年）



デザイン 大野 遙香（小学4年）

満喫！  
農業まつり

12月2・3日の2日間、役場正面駐車場を会場に、横越町農業まつりが開催されました。  
農業まつりは、町内の各種農業生産者たちが参加し、町内産の農畜産物を格安で販売し、収穫を消費者とともに祝う毎年恒例の行事です。  
今回も、町内の生産者たちに



ゴボウの販売



新興梨、ル・レクチェの販売



農産物品評会



もちつき大会



焼肉の試食

よって、長いも、ゴボウ、ネギなどの越冬野菜、新興梨、ル・レクチェ、米、えのき、乳製品、豚肉、阿賀野川で捕れた川ガニ、手作りの漬物や梨ジュースなどが所狭しと店頭に並び、両手いっぱい買い求める人々で賑わいました。  
また、農産物品評会には、梨

や大根、白菜などの生産者の自信作が展示され、見事な出来に訪れた人たちは感心しながら鑑賞していました。このほか、横越産の食材にこだわった横越鍋やつきたての餅が振る舞われたり、横越ポークの試食などが催され、訪れた人たちは横越の味を満喫していました。